



学校だより

9 月

令和8年8月28日 発行
第 4 2 5 号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



実りの秋に向けて

～色あせた絵日記が教えてくれたこと～

副校長 長谷川 裕志

このたびの熊本地震ならびに千葉県で発生した豪雨・水害により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。子どもたちには、学校で実施している避難訓練や防災教育を通して、自ら命を守る力を身に付けるとともに、困難な状況にある方々を思いやり、支え合う心を大切にしていきたいと考えています。

さて、長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。静かだった校舎は再び活気にあふれ、笑顔で登校する子どもたちの姿に、私たち教職員も安心しました。

私はこの夏休みも、実家のある福岡県北九州市へ帰省し、今年も長年手つかずの荷物の整理を行いました。その中から、小学校低学年の頃に書いた「夏休みの絵日記」が見つかりました。すっかり色あせたその日記には、7月21日から8月31日まで、毎日の出来事が記されていました。内容は、「近所のプールに行き、帰りに食べたアイスクャンディーがおいしかったこと」「暑い中、友達と野球をしたが、高学年の友達には到底かなわなかったこと」「朝顔で押し花に挑戦したが、うまくいかなかったこと」「宿題の読書感想文の本選びに悩んだこと」など、今振り返れば何気ない日常ばかりです。しかし、その一つ一つから当時の自分の思いや考えが伝わってきて、不思議な気持ちになりました。思い返してみると、夏休みに絵日記を書いたのは、一つのことを続けることができるようにするためだったようです。そして、このような記録を大切に保管してくれていた両親への感謝の気持ちも湧いてきました。子どもたちが学校で作った作品や作文などは、成長の足跡でもあります。ご家庭でも、写真や画像などで記録として残しておく、将来かけがえのない思い出になるかもしれません。

秋は「実りの秋」と言われます。春にまいた種が成長して秋に豊かな実りを迎えるように、子どもたちも日々の学習や友達との関わり、係活動や委員会活動などの積み重ねによって成長しています。もちろん、思うようにいかないことや失敗もありますが、その経験に向き合い乗り越えようとするのが大きな成長につながります。私たち教職員は、結果だけでなく努力の過程にも目を向け、励まし、支援してまいります。また、9月下旬には保護者の皆様との個人面談を予定しております。前期の学習や学校生活の様子をお伝えするとともに、学校と家庭が子どもたちのよさや課題を共有し、今後の支援について考える大切な機会です。限られた時間ではありますが、ご協力をお願いいたします。

なお、9月も厳しい暑さが続くことが予想されます。学校では熱中症対策や健康管理に十分配慮してまいります。ご家庭でも規則正しい生活習慣へのご協力をお願いいたします。前期終了まであと一か月余りとなりました。子どもたち一人ひとりが自らの成長を実感し、達成感をもって前期を締めくくることができるよう、教職員一同取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。